

平成25年度 第4回 東京都健康長寿医療センター研究部門倫理委員会 会議概要

開催日時 平成26年2月24日(月)午後1時30分～午後4時45分

開催場所 2階第2・第3会議室

出席委員 丸山委員長、高橋副委員長、河津委員、直井委員、服部委員、小林委員、遠藤委員、石崎委員  
河本委員、重本委員(オブザーバー※) (出席委員9名/定数10名) ※オブザーバーはカウントしない

受付番号	新規・迅速	申請者	研究課題名	判定	条件・勧告又は不承認の理由等
迅76	迅速	田中 雅嗣	陸上競技選手のゲノム全領域関連解析	承認	
迅77	迅速	田中 雅嗣	皮膚表現型や体質とミトコンドリアハプログループとの関連性探索 (5)	承認	
迅78	迅速	村山 繁雄	高齢者連続開頭剖検例を用いた、変性型老化病理の網羅的研究による、高齢者ブレインリソースの構築	承認	
迅79	迅速	桜井 良太	高齢者による『絵本の読み聞かせ』ボランティアによる介入プログラムの開発及びその評価	承認	
迅80	迅速	田中 雅嗣	百寿者・超百寿者・長寿兄弟の全エクソン解析	承認	
迅81	迅速	石井 賢二	ドパミントランスポーターリガンド [C-11] 標識PE 2 Iの計測条件と正常加齢変化の検討	承認	
迅82	迅速	村山 陽	世代間交流事業におけるダークサイドの分析と予防策の研究	承認	
迅83	迅速	沼賀 二郎	埼玉県鳩山町における加齢黄斑変性症の有病率、栄養疫学調査、及びゲノム多型解析	承認	
迅84	迅速	鈴木 宏幸	絵本の読み聞かせによる認知機能低下抑制プログラムの開発と評価	承認	
迅85	迅速	栗田 圭一	地域の特性に応じた認知症早期診断・早期対応システムの構築に関する実践的研究：千代田プロジェクト	承認	
迅86	迅速	井藤 佳恵	アウトリーチ型認知症高齢者相談事業の対象となる高齢者に関する調査	承認	
迅87	迅速	涌井 智子	地域在住要介護高齢者と家族の災害対策についての研究－医療と介護の継続的なサービス提供における課題の明確化と情報支援－	承認	
88	新規	三浦 ゆり	糖尿病合併症新規マーカーの探索	承認	
89	新規	藤田 泰典	高齢者の認知機能低下と血中GDF15濃度の関連性の検討	承認	
90	新規	豊田 雅士	ナルコレプシーのiPS細胞樹立と、それを用いた疾患解析研究	承認	
91	新規	伊藤 雅史	泌尿器科癌のエクソーム関連タンパクの解析と診断システムの開発	承認	解析後の試料の取扱について、申請書に記載し再提出すること。

受付番号	新規・迅速	申請者	研究課題名	判定	条件・勧告又は不承認の理由等
92	新規	石井 賢二	タウイメーキングによる正常加齢と脳変性疾患の病態研究	承認	・アミロイドPET検査の結果の開示については、被験者の同意が必要となる旨を説明文書に記載すること。 ・説明文書に、研究によって得られる利益と生じる不利益について記載することを検討されたい。
93	新規	石井 賢二	脳血管障害の既往が運動負荷時脳血流量変化に及ぼす影響の検討；仰臥位自転車エルゴメーター運動負荷時における脳血流PET計測	承認	・共同研究機関にて倫理審査が必要かどうかを確認すること。必要な場合は、申請書及び結果通知を書面で提出すること。 ・下記の2点について説明文書に詳細に記載すること。 (1) 解剖学的に詳細な情報を必要とする場合はMRI撮影をあわせて行うこと。 (2) 検査時に有害事象が発生した場合に備え、保険に加入していること。 ・研究対象は、健常者ボランティアと脳血管障害の既往歴がある患者であるため、両者に対応できるような説明文書に修正すること。 ・メディカルチェックの実施場所は状況によって異なる旨を申請書に記載すること。
94	新規	石井 賢二	アセチルコリンエステラーゼ阻害薬のアミロイドβに対する効果と認知機能に関する研究	承認	・アミロイドPET検査の結果の開示については、被験者の同意が必要となる旨を説明文書に記載すること。
95	新規	石井 賢二	<sup>18</sup> F-NaFとPET/CTによる骨イメージングの最適化	承認	
96	新規	石崎 達郎	後期高齢者の医療・健康診査の実態把握に関する研究	承認	・申請書の研究期間を平成29年3月31日までに修正し、再提出すること。 ・共同研究機関での倫理委員会の承認が得られたら、申請書及び結果通知を書面で提出すること。 ・分析後のデータの廃棄方法について、申請書に記載すること。
97	新規	金 憲経	地域在住高齢者を対象としたsarcopenic obesity選定基準作成（継続申請）	承認	・既に収集済みのデータを新たな研究に用いることについて、関係する自治体と協議し、承諾を得ること。 ・本研究で得られた研究成果を研究対象者へ報告できるような場を設けること。
98	新規	鈴木 宏幸	地域高齢者における認知機能低下者の早期発見と対応に関する研究	承認	・調査のイメージが掴みづらいため、研究対象者に分かりやすいよう調査の概要を具体的に示すこと。 ・研究に参加することによって得られる利益と生じる不利益について、説明文書に記載すること。 ・診断行為ではないことを明確にすること。 ・検査結果の開示については、募集の段階で開示の希望を聞くなど十分配慮すること。
99	新規	安永 正史	地域在住の高齢者ボランティアを活用した小1プロブレムへの介入研究	不承認	・研究目的や評価方法、児童に対する人権上の配慮など検討すべき点が多く見受けられる。研究計画を練り直し、次回以降の倫理委員会に付議し、再度審査を受けること。
100	新規	松田 陽子	がん組織における遺伝子変化の局在性と病理組織像の対比	承認	
101	新規	栗田 圭一	地域包括支援センターの認知症対応力評価尺度の開発	承認	・研究課題名と調査票の関連性について説明を加えること。 ・調査票にID番号を用いる場合は、回答がない場合でも一切の不利益は被らないことを明示すること。
102	新規	岡村 毅	生活困窮者の精神医学的ニーズ把握と効果的支援の研究	承認	共同研究先の倫理審査申請書、結果通知を書面で提出すること。